

令和5年12月吉日
(2023年)

保護者の皆様へ

吹田市立山手小学校
校長 瀬崎 浩美

令和5年度 全国学力・学習状況調査の分析について

朝夕めっきり寒くなりましたが、保護者の皆様には、ご健勝にてお過ごしのことと存じます。また、平素は、本校の教育活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本年度6年生を対象として「令和5年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語、算数に限られ、測定されたものは学力の一部であって、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことをまず踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった6年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導方法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にさせていただきますようお願いいたします。

1. 教科に関する調査の分析

●国語《概要》

児童の平均正答率は全国値を上回っており、多くの児童に基礎的・基本的な国語に関する知識や技能が身につけていると考えられる。しかし、2つの問題で全国値を下回るものもあり、課題があると考えられる。

●国語《各領域における成果と課題》

話すこと・聞くこと

- ・「目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」問題は、全国値を大きく上回っている。

書くこと

- ・五領域の中では、最も平均正答率が低かったが、「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」問題は、全国値を大きく上回っている。

読むこと

- ・「目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができるかどうかをみる」問題は、全国値を大きく上回っている。

言葉の特徴や使い方に関する事項

- ・「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」問題の1つ（いがい）は、全国値を大きく上回っている。また、「日常よく使われる敬語を理解しているかどうか

かをみる」問題も全国値を大きく上回っている。しかし、「送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」問題は、全国値をやや下回っている。

情報の扱い方に関する事項

- ・「情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる」問題は、全国値を上回っている。しかし、「送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」問題が、全国値を下回っている。

☆国語科における成果と今後の改善点について

今回の調査の結果は、全国値を上回るものが多く、良好な結果であった。その中でも、特に「書くこと」については、本校の数値は高かった。これは、国語科の研究を始めて3年。山手小学校としての日々の積み重ねの大きな成果であると考えられる。授業の中で、児童一人ひとりが自分の考えを書き表す活動を重視してきた結果だと判断できる。

しかし、全国値を大きく上回っているものの、全体的な正答率が低く、その点が課題と考えられる。

今回の調査の結果から、「書くこと」について、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がみられる。そうした力を育成するためにも、授業の中で書く活動を意図的に増やしたり、自分や友達の書いた文章を読み合う時間を確保したりして、文章全体の構成や展開が明確になっているかなどの観点から振り返れるように取り組んでいく。

●算数《概要》

児童の平均正答率は、全ての問題において全国値を上回っていた。多くの児童に基礎的・基本的な算数に関する知識や技能が身につけていると考えられる。しかし、全国値を上回っているが、正答率が高くないものもあり、課題があると考えられる。

●算数《各領域における成果と課題》

数と計算

- ・「示された日常生活の場面を解説し、小数の加法や乗法を用いて、求め方と答えを式や言葉を用いて記述し、その結果から条件に当てはまるかどうかを判断できるかどうかをみる」問題と「加法と乗法の混合した混合した整数の計算をしたり、分配法則を用いたりすることができるかどうかをみる」問題は、全国値を大きく上回っている。

図形

- ・「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる」問題と、「台形の意味や性質について理解しているかどうかをみる」問題は全国値を大きく上回っている。しかし、「正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる」問題は、全国値を上回っているものの、正答率が他の問題と比べて低い。

変化と関係

- ・「百分率で表された割合について理解しているかどうかをみる」問題と、「伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる」問題は、全国値を大きく上回っている。

データの活用

- ・「示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる」問題は、全国値を大きく上回っている。

☆算数科における成果と今後の改善点について

今回の調査の結果、全ての問題で全国値を上回っており、基礎的・基本的な知識や技能は身につけていると言える。これは、本校が取り組んできた算数科における少人数指導や月に1～2回放課後に行っている学力保障の日の成果と考えられる。

その一方で、「図形」の領域での正答率が低く、課題がみられる。図形の観察や構成などの活動を通して、図形の性質について考察し、示された図形の角の大きさを求めることができるようにすることが大切である。また、それらの性質を生かして作図する活動も積極的に取り組んでいく。

2. 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

【学習環境・生活環境について】(<どちらかといえば、当てはまる>を含む)

<特に全国値を上回っている項目>

- ・「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」
- ・「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」

<特に全国値を下回っている項目>

- ・なし

【教科・学習について】(<どちらかといえば、当てはまる>を含む)

<全国値を上回っている項目>

- ・「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」
- ・「国語の勉強は大切だと思いますか」
- ・「国語の授業の内容はよく分かりますか」
- ・「国語の授業では、言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいますか」
- ・「国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていますか」

- ・「国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けていますか」
- ・「国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか」
- ・「算数の勉強は好きですか」
- ・「算数の勉強は大切だと思いますか」
- ・「算数の授業の内容はよく分かりますか」
- ・「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」
- ・「これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか」

<全国値を下回っている項目>

- ・「国語の勉強は好きですか」
- ・「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」
- ・「英語の勉強は好きですか」
- ・「英語の勉強は大切だと思いますか」
- ・「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか」

3. 成果と今後の取り組み

今回の学力状況調査は、全国値を上回り、良好な結果でした。これは、児童の日々の積み重ねの成果であることは当然ですが、保護者の皆様の支えがあつてこそだと考えております。また、本校の教育目標でもある「自分の思いを自分の言葉で伝える あったかい教室」の取り組み、少人数指導や専科制の導入、ICT 機器を使った指導の工夫、授業研究等の成果とも考えております。

今後は、これまでの取り組みを継続して行っていくとともに、学習面では、日常生活や社会事象をもとにして、知識や技能を活用する力の育成を意識した授業づくりに取り組んでいきます。

また、教育活動全体において、児童が持てる力を発揮できるよう安心安全な環境を整え、個々の児童理解に努めます。そして、児童同士が関わり、協力し合う取り組みを増やし、それぞれの良さが発揮できる場面を意識的に作り、自己有用感や自尊感情を育てていきます。

ご家庭におかれましては、引き続き児童に安定した学習環境と健康な生活リズムを作っていただくとともに、社会や地域に関心を持てるよう、新聞やテレビ、インターネットのニュースを一緒に見たり、時事問題を話題にしたり、地域行事やボランティアに参加する等、社会参画の意識を高めていただきますよう、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。